HP「中東と石油」A54

(注)本稿は 10/17 及び 10/18 の 2 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートを一括してまとめたものです。

2009.10.19
前田　高行

目次　頁

１．全世界のイスラム教徒の総数及び地域別分布　1
２．国別のイスラム人口　2
３．非イスラム国家のイスラム人口　2
４．シーア派の信者数　3

世界のイスラム人口（PEW FORUM レポートより）

世界各国には多数のイスラム教徒がいる。信徒は全世界で 10 数億人と言われているが、その総数或いは各国別の人数についてはいろいろな統計がある。

ここでは米国ワシントンに本部を置く PEW FORUM ON RELIGION & PUBLIC LIFE が最近発表したレポート ’Mapping the Global Muslim Population (A Report on the Size and Distribution of the World's Muslim Population)’ から国別のイスラム教徒数及びシーア派信者数を取り上げて読者のご参考に供したい。

＊PEW FORUM は世界の宗教問題に関する情報提供を目的とした中立の非営利機関である。（Forum のホームページ http://pewforum.org/より）
なおレポートの全文は下記 URL で閲覧可能である。
http://pewforum.org/newassets/images/reports/Muslimpopulation/Muslimpopulation.pdf

１．全世界のイスラム教徒の総数及び地域別分布

(図：http://menadatabase.hp.infoseek.co.jp/2-I_Manpower&Wage.html 参照)

世界のイスラム教徒の総数は 15 億 7 千万人であり、全人口に占める割合は 22.9%である。4.4 人に一人がイスラム教徒ということになる。因みに国連人口基金（UNFDP）の統計「世界人口白書 2008」によれば、世界の総人口は約 67.5 億人である。

地域別に見るとイスラム教徒が最も多いのはアジア･大洋州の 9.7 億人であり、総数 15.7 億人の 63%が集中している。これについで多いのが中東･北アフリカ(MENA)地域の 3.2 億人で 20%を占め、サブ･サハラ(サハラ砂漠以南)のアフリカ地域の信者数は 2.4 億人(15%)である。これら以外の地域の信者数は少なく、ヨーロッパ地域は 38 百万人(2%)、南北アメリカは 5 百万人(0.3%)と推定される。

なお各地域の総人口に占めるイスラム教徒の割合は、アジア･大洋州が 24%であるのに対し、

中東・北アフリカ地域は総人口の 91%に達し、同地域ではほとんどがイスラム教徒である。またサブ･サハラのアフリカは 30%であり、アジア･大洋州よりもイスラム教徒の密度が高い。

２．国別のイスラム人口

(表「世界の国別イスラム人口」http://menadatabase.hp.infoseek.co.jp/1-I-2-91aMuslimPopulationByCountry.htm 参照)

世界の国々の中でイスラム教徒が最も多いのはインドネシアであり、その信者数は全人口の 88%を占める 2 億 3 百万人に達する。これに次いで多いのはパキスタンの 1.7 億人であるが、同国の場合は国民のほとんど(96%)がイスラム教徒である。イスラム信者数第 3 位はインドの 1.6 億人である。同国はヒンズー教徒が多数を占め、イスラム教徒の割合は 13%程度に過ぎないが、ムンバイなど西海岸の各州にはイスラム教徒が集中している。

因みにサウジアラビア、UAE など湾岸産油国には多数のインド・パキスタン出身の男性労働者が建設業など単純労働に従事しており、またインドネシア出身の女性労働者が家庭内労働者（メード）として働いているが、彼らはほとんどはイスラム教徒である。宗教が同じであることが彼らの労働ビザの取得を容易にしており、また現地での生活慣習に馴染みやすくしていると言える。

インドネシア、パキスタン、インドに次いでイスラム教徒が多い国はバングラデシュで同国の信者数は 1.5 億人、全人口の 9 割を占めている。これら 4 カ国がイスラム人口が 1 億人を超える国である。

イスラム人口が 5 千万人以上の国は、エジプト（79 百万人、全人口に占める割合 95%。以下同じ)、ナイジェリア(78 百万人、50%)、イラン（74 百万人、99%）及びトルコ(74 百万人、98%)の 4 カ国である。これらのほかイスラム人口が多い主な国としては、アルジェリア(34 百万人)、モロッコ(32 百万人)、イラク、スーダン(各 30 百万人)、アフガニスタン、エチオピア(各 28 百万人)などがある。

３．非イスラム国家のイスラム人口

(表「世界の国別イスラム人口」http://menadatabase.hp.infoseek.co.jp/1-I-2-91aMuslimPopulationByCountry.htm 参照)

イスラム国家ではないが、中国およびロシアにもそれぞれ 22 百万人、16 百万人のイスラム教徒がおり、信者数では世界 20 位前後である。ロシアはソ連崩壊によりウズベキスタン（信者数：26 百万人）など中央アジアのイスラム諸国が独立した現在もかなりのイスラム教徒が残っており、隣接イスラム諸国との軋轢、或いはチェチェン問題など少数民族問題としての火種を抱えている。中国の場合も最近のウィグル自治区における騒乱に見られるように、イスラム系少数民族の問題は中央政府にとって頭痛の種となっている。

西欧諸国でイスラム教徒が最も多いのはドイツの 4 百万人強であり、同国の人口に占める割合は 5%程度である。ドイツに次いで信者数が多いのはフランス(約 360 万人)であり、全人口に占める比率はドイツより若干多い 6%と推定されている。そのほか米国には 250 万人、英国にも 165 万人程度がいる。なお PEW レポートでは、日本のイスラム信者数は 183 千人と推定してお

り、全人口に占める割合は 0.1%以下である。

４．シーア派の信者数

(表「世界各国のイスラム教シーア派信者数」http://menadatabase.hp.infoseek.co.jp/1-I-2-91bShiaMuslimByCountry.htm 参照)

イスラム教にはスンニ派とシーア派の二大宗派があるが、PEW レポートによれば全世界のシーア派信者は 1.5 億～2 億人程度であり、全イスラム教徒(15.7 億人)に占める割合は 10～13%になる。

国別に見るとイランが最も多く 6,600-7,000 万人である。同国のイスラム教徒の 90-95%はシーア派信者であり、また全世界のシーア派信者の 4 割近くを占めている。イランに次いでシーア派信者が多いのはイラクで(1,900-2,000 万人)であり、これは同国のイスラム教徒の 65-70%に達し、イラクではシーア派がスンニ派を 2 倍前後上回っている。

そのほかシーア派信者が多いのはパキスタン(1,700-2,600 万人)、インド(1,600-2,400 万人)、トルコ(700-1,100 万人)などであるが、これらの国ではシーア派は 10-15%を占めるに過ぎず、スンニ派が多数派である。

なおレバノン及びバハレーンのシーア派信者数はそれぞれ 100-200 万人、40-50 万人であり、信者の絶対数はさほど多くないが、イスラム教徒全体に占める割合はレバノンが 45-55%、バハレーンは 65-75%に達する。レバノンにはキリスト教徒が多数おり、宗教のモザイク国家の様相を呈しているが、イスラム教徒についてもスンニ派とシーア派の数が拮抗しており、同国の政情不安の原因となっている。またバハレーンは国民の多数をシーア派が占めているにもかかわらず、支配王家（ハリーファ家）はスンニ派であり、宗教的には少数派が多数派を支配する構図である。このためバハレーンではシーア派住民による反政府デモが頻発しており、ハリーファ家はその対応に苦慮している。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田　高行　　〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp